

知の宝、みんなで見よう

久御山 中学校 学校図書購入へ選書会

久御山中学校(南亮司校長)で、図書室に入れてほしい学校図書を生徒が人気投票で決める選書会が開かれた。

久御山中学校 図書への関心を高めようと、3年前から始めた取り組み。宇治市神明のタケタ書店が約500冊を取りそろえ、先月30日の期末テスト終了後に午後から約1時間、希望者が参加した。

小説を中心に実用書



お気に入りの1冊にしおりを挟んで人気投票

や図鑑など、ハードカバーから文庫まで幅広く展示。生徒は受け付けで「リクエストしおり」を5枚もらい、熱心にページをめくって意中の本に挟んでいった。ズラリと並んだ本に「めっちゃワクワクする」と好奇心あふれる声も。

今年は、全国の高校生による「黒板アート甲子園」の作品集やアスリートの「原点」に迫った特集本、バレーボール漫画「ハイキュー!!!」の小説版などが高い人気。城陽市在住の作家、望月麻衣さんの「京洛の森のアリス」シリーズにも多くのしおりが挟まれた。

こだわり献立に舌鼓

久御山 町教委 学校給食試食会

久御山町の学校給食の試食会が15日、久御山中学校(南亮司校長)であり、保護者や住民ら13人が地元食材を取り入れたこだわりの献立に舌鼓を打った。



久御山中に給食室が今春完成し、町内の全小中学校で主食とおかず、牛乳がそろった「完全給食」を自

校調理で提供できるようになったのを機に、町教委が初めて開催した。給食への理解を深めてもらう目的。

この日のおかずはゴボウ入りつくね、春雨の酢の物、コマツナのみそ汁。米とコマツナ、

みそは町内産を使った。参加者らは、給食を調理する際の工夫やアレルギー対応、食育の取り組みなどの説明を受けた後、地産地消の献立を試食。つくねのゴボウのシャキシャキとした食感や、みそ汁のじゃこだしのうまみなどを満喫した。

会場校の南校長は「みんなが同じものを食べる。これほど素晴らしい教育はない」と説明。久御山中の元学校運営協議会長、大宮司季さんは「ボリュームもあり、おいしかった。ゴボウも加工してあり食べやすかった」と納得の表情だった。

【写真】地産地消の学校給食を試食する保護者(り)

道標(号外)

十二月生徒会月目標

「本の世界に飛び込もう」